

ゴール 短歌の言葉の響きやリズムに親しみ、音読をしよう。

「百人一首」とは、代表的歌人百人の短歌を一首ずつあつめたものです。特に、鎌倉時代、藤原定家が編集したとされている『小倉百人一首』が最も有名です。

かるた遊びの説明

- ① 取り札を分けて、自分の前にならべます。
- ② 読み手が読み札(上の句)を読みます。
- ③ 取り手は、読み手が読んだ読み札に合った取り札(下の句)を取ります。
- ④ 取り札をより多く取った人が勝ちです。

一次の短歌を声に出して読んでみましょう。

- ① あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の ながながし夜を ひとりかも寝む
- ② 奥山に もみじふみわけ 鳴く鹿の 声きくときぞ 秋はかなしき
- ③ 淡路島 かよふ千鳥の 鳴くころに いく夜寝ざめぬ 須磨の関守
- ④ ほととぎす 鳴きつる方を ながむれば ただありあけの 月ぞ残れる
- ⑤ きりぎりす 鳴くや霜夜の さむしるに 衣かたしき ひとりかも寝む
- ⑥ かささぎの 渡せる橋に置く霜の 白きを見れば 夜ぞ更けにける

二 右の①～⑥の短歌の中には生き物がよまれています。それぞれ見つけて ( )の中に書きましょう。

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )
- ④ ( )
- ⑤ ( )
- ⑥ ( )



ふりかえり

- ・短歌をリズムよく読むことができた。 ( )
- ・短歌の中によまれている生き物を読み取ることができた。 ( )

ゴール 短歌の言葉の響きやリズムに親しみ、音読をしよう。

「百人一首」とは、代表的歌人百人の短歌を一首ずつあつめたものです。特に、鎌倉時代、藤原定家が編集したとされている『小倉百人一首』が最も有名です。

かるた遊びの説明

- ① 取り札を分けて、自分の前にならべます。
- ② 読み手が読み札(上の句)を読みます。
- ③ 取り手は、読み手が読んだ読み札に合った取り札(下の句)を取ります。
- ④ 取り札をより多く取った人が勝ちです。

一次の短歌を声に出して読んでみましょう。

- ① あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の ながながし夜を ひとりかも寝む
- ② 奥山に もみじふみわけ 鳴く鹿の 声きくときぞ 秋はかなしき
- ③ 淡路島 かよふ千鳥の 鳴くころに いく夜寝ざめぬ 須磨の関守
- ④ ほととぎす 鳴きつる方を ながむれば ただありあけの 月ぞ残れる
- ⑤ きりぎりす 鳴くや霜夜の さむしるに 衣かたしき ひとりかも寝む
- ⑥ かささぎの 渡せる橋に置く霜の 白きを見れば 夜ぞ更けにける

二 右の①～⑥の短歌の中には生き物がよまれています。それぞれ見つけて ( )の中に書きましょう。

- ① ( ) **山鳥** ( )
- ② ( ) **鹿** ( )
- ③ ( ) **千鳥** ( )
- ④ ( ) **ほととぎす** ( )
- ⑤ ( ) **きりぎりす** ( )
- ⑥ ( ) **かささぎ** ( )



ふりかえり

- ・短歌をリズムよく読むことができた。 ( )
- ・短歌の中によまれている生き物を読み取ることができた。 ( )